

スリランカの漁村から ～平和をつくり出す人々～

11/29
(金)

ウインク
あいち

2004年の大津波や26年におよんだ内戦の終結などを経て、今、人々はどんな課題をかかえ、どのように乗り越えようとしているのでしょうか？

日本以上に多文化、多宗教のスリランカで、人々が自信をつけ貧困を克服し、立場が異なる人たちの間で理解と協働を生み出そうと取り組んでいる二人がやってきます。マスコミやネットからでは伝わってこない人々の声に聴いてみませんか？

話し手： フランシス・プリヤンカラ

住民の参加と意思に基づく地方自治をテーマとしたNGO「スリランカ全国漁民連合 (NAFSO)」のシニアスタッフ。内戦終了後のスリランカにおける和解のための人づくり・ワークショップ等を進めてきた。2019年4月の同時爆発事件以降の平和の取り組みも始めている。



話し手： スランジ・ワサナ

ハンウェラ女性組合の創始者。生計向上活動、行政と連携して住宅建設プログラムを実施。共助のため子どもグループ活動も始めた。NAFSOの研修によって、リーダーとなり、それが実施する全国の漁民の権利を守る運動に協力している。



NGOの活動拠点「ニゴンボ」・・・スリランカの西海岸に位置する漁業が盛んな都市。人口は約13万人。2019年4月のテロでは、この地の教会が爆破され、少数派キリスト教徒100名以上が犠牲になった。

【日程】2019年 月11月29日 (金) 18:30～20:45 【参加費】500円 【定員】50名
【申込】右のQRコード または メール:info@nangoc.org 電話:052-228-8109
【会場】ウインクあいち907号室 〒450-0002 名古屋市中村区名駅4-4-38
【共催】(特活)名古屋NGOセンター、公益財団法人 アジア保健研修所(AHI)
本事業は、一般財団法人大竹財団の助成金を受けて実施しています。

